

# こやのせだより

「あきらめない！」

少しを、次々と、時間内に

「できるを重ねる」

自信

平成30年6月6日  
北九州市立木屋瀬小学校  
校長 瀧上 正彦

## 運動会の応援ありがとうございました！

運動会ではたくさんの応援ありがとうございました。保護者の皆様にたくさん褒めていただいたおかげで、子どもたちは、大きく自信を付けたことと思います。ありがとうございました。

これからだんだんと暑い日が増えて参ります。学校では熱中症や食中毒など十分注意して学習に望みたいと思います。お茶の準備や手洗い等、ご家庭のご協力もお願いいたします。

### ◎ プール学習が始まります【重要】

楽しみにしている子が多い学習ですが、プールは命にかかわる学習です。以下の点に注意されてください。

☆忘れますと、プールに入れません。

☆担任から確認のお電話は致しません。

(昨年度までと運用ルールが変わっています。)



×；サインは不可。押印がないと入れません。

×；水泳帽子忘れ、指定外水着は入れません。

×；ゴーグル、ラッシュガードは使用不可。健康上の使用は許可が必要。(逆に忘れても入れません)

×；プールカードは全て記入。(検温、体調、○×、理由)

ご家庭で前日の確認をお願いします。

### ◎ 運動会ご協力のお礼

P T A各委員会、役員の方々には早朝よりご協力いただきましてありがとうございました。

お陰様で当日は大きな混乱もなく、子どもたちも演技に集中して、全力を出し切ることができました。

また、19張りものテントを準備しましたが、保護者の方々のご協力のお陰で、あっという間に片付きました。

保護者のご協力の大変大きい地域だと感動しております。ありがとうございました。

### ◎ 消防音楽隊コンサート 7日(木)

消防音楽隊が子どもたちのために、オーケストラの演奏、楽器の説明、防災の備えについて、わかりやすく教えてくれます。

### ◎ 梅雨時の過ごし方

梅雨時は、雨の予報がなくても急に雨が降り出す時があります。また、雨が降っていても、傘を差さずに登校してくる児童がいます。教室には今年からエアコンが入るため、冷え込んで風邪をひく心配があります。



また、靴下が濡れて、困っている児童も見かけます。長靴や、替えの靴下の準備をお願いします。

通学時に、増水した側溝に傘を入れて、引きずり込まれたり、落ち込んだりして流されることがあります。お子様の通学路を確認してご注意をお願いします。

## シリーズ 子育て応援

## ～校長の独り言～

### ◎ 3ステップを意識した子育て!!

子どもは大きく次の3ステップを経て成長します。3ステップとは、“同じ→違い→離れ”の3つです。

- ① 同じ；みんなと一緒に同じ体験をすること
- ② 違い；友達や親との違いを受け止めること
- ③ 離れ；友達や親と離れること すなわち自立

子どもが成長するときの3段階を知って、自立できる子育てにのぞみましょう。

#### ① 同じ：保育園・幼稚園児

保育園、幼稚園くらいの時期は、集団生活に慣れるためにみんなと同じ体験をします。保育園や幼稚園で、みんなで一緒に遊んだり、歌ったり、踊ったりする時間は多いのはそのためです。

親は、「みんなと一緒にやってみようよ？」とひと声かけるのがベターです。子どもが皆とたくさん“同じ”を経験して、成功体験を積み重ねていけるようにしましょう。

#### ② 違い：小学生(低学年)～小学生(中学年)

小学校に入ると、運動や勉強、性格や行動などで、親も子ども自身も、他の子との違いを感じ始めることが増えます。

この時期になったら、そのような“違い”を受け止めて、個々の“自信”へつなげましょう！

しかし、子どもや親は他の子と比べて、劣っているところを見付け自信を失いがちです。そんなときは、人と“同じ”ものを絶対に求めないでください！

「かけっことは速くなくても、手足の振りは格好良いよ」「字は上手に書けなくても、止めやハネが正しく書けるよ」といったように、その子のよさを知らせて、一つ一つ「できる」という自信を育てていくことが正解です！

#### ③ 離れ：小学生(高学年)～中学生

最後は、小学生(高学年)～中学生。この時期になると、“離れ”を経験します。クラスで気の合うこと合わない子ができたり、親より友達との付き合いが増えたり……。

身近な人との分離は今まで経験したことがないものなので、戸惑うことも多いです。こういった離れの不安をうまく乗り越えるためには、前の“同じ”や“違い”をしっかり経験させ、自分に自信をつけておくことが大切です。これが、自己肯定感です。

ちなみにこの時期は、子どもだけではなく、親自身も子どもが離れていくように感じます。親が子どもの持つ不安をしっかり受け止めながら、親自身も離れていく子どもの成長を受け止めるようにしましょう。

いつか子どもは、親の手を離れていくものです。そのときまで、自分に自信がつくような子育てをしていきましょう。

ITMama『子どもが成長する上で最も必要なものは「たった3つ」だった』  
親子のメンタルヘルス研究所 岸本元気より。